

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和6年度事業点検・評価調書

4-Ⅱ-8

4-Ⅱ-8

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	世界遺産ガイドの養成
節	Ⅱ. ガイダンス機能・ガイド体制の充実		
事業(施策)名	8 世界遺産ガイド養成事業	事業主体	佐渡市観光振興課
事業実施期間	H28～R6	関連団体	佐渡市世界遺産推進課、佐渡市農業政策課、佐渡市社会教育課、佐渡観光交流機構、佐渡を世界遺産にする会、佐渡を世界遺産にする新潟の会
事業概要	【事業目的】 ○ 世界遺産ガイドの養成を通じて、来訪者への説明体制・ガイダンス機能の強化を図る。 【事業内容】 ○ 世界遺産・ジオパーク・ジアスに係るガイドのほか、移動手段等に関する総合的な知識を持つガイドや海外からの来訪者に対応できるガイド、資産ごとに詳細な説明を行うガイド等の養成について、次世代の育成も含めて検討する。 【本計画終了時点のゴール】 ○ 史跡佐渡金銀山遺跡について多言語で解説できる観光ガイドを十分に確保する。		
これまでの取組実績	○ 佐渡金銀山ガイド養成講座を実施し、52名を佐渡金銀山ガイドとして認定した。 ○ 毎年、ガイドスキルの向上、リスクマネジメント等の研修を開催している。 ○ 北沢浮遊選鉱場、ガイダンス施設を起点としたガイド実地研修を行った。		
事業計画と実績	【R6年度計画】 ● インバウンド需要の回復を見据え、観光ガイドが訪日外国人への対応を行えるようガイド研修を実施する。 【R6年度実績】 ● 全国通訳案内士を講師として、インバウンド向けのインタープリテーションを学ぶ研修会を実施した。		
事業評価	【ゴールに対する計画終了時の達成度】 〔 A ・ <u>B</u> ・ C 〕 ◇ 継続的なスキルアップ講習により、島内ガイドのインバウンドに向けての意識向上につながることができた。		
課題	■ ガイド講習ではインバウンド層の興味関心やガイドングのマナーについて扱ったが、言語的な部分はすぐに対応することは不可能。翻訳ツールなど、技術的なサポートも含めて今後検討する。		

A: 予定を上回る進捗
B: 概ね予定どおり
C: 遅れている。